

統合物質創製化学推進事業 第3回統合物質シンポジウム 「新エネルギーと物質創製」

会期：平成24年6月1日（金）、2日（土）

会場：九州大学 西新プラザ

第1日目：6月1日（金）

- 13:00-13:05 開会の辞
- 13:05-13:35 研究報告 成田吉徳（九州大学先導物質化学研究所・教授）
「Bio-inspired 分子触媒による酸素還元反応」
- 13:35-14:05 研究報告 阿波賀邦夫（名古屋大学物質科学国際研究センター・教授）
「界面電気二重層を利用したエネルギー・情報変換」
- 14:05-14:35 研究報告 佐藤直樹（京都大学化学研究所・教授）
「非中心対称結晶を与える両性イオン分子の薄膜における表面電位の自発形成と光誘起消滅」
- 14:35-14:50 休憩
- 14:50-15:40 特別講演 榎 敏明（東京工業大学理工学研究科・教授）
「グラフェン端の分子科学」
- 15:40-16:10 研究報告 瀬川泰知（名古屋大学大学院理学研究科・助教）
「カーボンナノリングの選択的合成」
- 16:10-16:40 研究報告 山内美穂（九州大学 ICNER・准教授）
「鉄族ナノ合金の構造制御と機能性創出」
- 17:00-19:30 ポスターセッション（ミキサー）

第2日目：6月2日（土）

- 9:00-9:30 研究報告 笹森貴裕（京都大学化学研究所・准教授）
 「高周期 15 族元素 π 電子系を基盤とする新規酸化還元系の構築」
- 9:30-10:00 研究報告 大澤雅俊（北海道大学触媒化学研究センター・教授）
 「表面増強赤外分光でみる電極触媒反応」
- 10:00-10:30 研究報告 蒲池高志（九州大学先導物質化学研究所・助教）
 「フルオロ酢酸デハロゲナーゼの基質特異性に関する理論的研究」
- 10:30-10:50 休憩
- 10:50-11:40 特別講演 堂免一成（東京大学工学系研究科・教授）
 「水分解光触媒開発の現状と展望」
- 11:40-12:10 研究報告 大木靖弘（名古屋大学大学院理学研究科・准教授）
 「ニトロゲナーゼ活性部位の人工構築を志向した鉄-硫黄クラスター
 合成反応」
- 12:10-13:30 昼食
- 13:30-14:00 研究報告 清水研一（北海道大学触媒化学研究センター・准教授）
 「非白金族系固体触媒による選択的有機合成」
- 14:00-14:30 研究報告 脇岡正幸（京都大学化学研究所・助教）
 「パラジウム触媒によるアレーン類の直接的アリール化：反応機構お
 よび重合反応への応用」
- 14:30-15:00 研究報告 井川和宣（九州大学先導物質化学研究所・助教）
 「シリル置換不飽和結合の特性を活用した効率的分子変換法の開発」
- 15:00 閉会の辞